九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[06_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1468012

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 6 (1), 1973-02-20. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

ジョブ制御マクロ一覧

（昭和48年1月現在）

(1)	$QJOB	課題番号，登録名，ジョブ種別，使用言語 〔, TIME=mm•ss〕
		〔, LP=n〕〔, LPL=n〕〔, CP=n〕〔, CORE=nK〕
		〔, CONDITION=（下限，上限）〕
		〔, PASSWORD=USRn〕
(2)	$FORTRAN	〔GO〕〔, NOLIST〕〔, MAP〕〔, NOOPT〕
		〔, LMAP〕〔, SEQ〕〔, MACROSTEP=n〕
		〔, ELMNAME=（メンバー名，…）〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
(3)	$ALGOL	〔NOLIST〕〔, HTYPE〕〔, SEQ〕
		〔, MACROSTEP=n〕〔, ELMNAME=（メンバー名，…）〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
(4)	$FASP	〔LIST〕〔, DUBUG〕〔, SEQ〕
		〔, MACROSTEP=n〕〔, ELMNAME=（メンバー名，…）〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
(5)	$LIEDRUN	〔NOLIST〕〔, LMAP〕
		〔, EBNAME=実行形式プログラム名〕
		〔, STARTPROGRAM=実行開始エレメント名〕
		〔, ERR=n〕
		〔, DATA=データ名〕〔, MACROSTEP=n〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
(6)	$LIED	〔NOLIST〕〔, LMAP〕〔, MACROSTEP=n〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
(7)	$RUN	〔EBNAME=実行形式プログラム名〕
		〔, FILENAME=ファイル名〕
		〔, ERR=n〕〔, DATA=データ名〕
		〔, MACROSTEP=n〕〔, OUTPUT=REMOTE〕
(8)	$GO	〔EBNANE=実行形式プログラム名〕
		〔, STARTPROGRAM=実行開始エレメント名〕
		〔, ERR=n〕
		〔, DATA=データ名〕〔, MACROSTEP=n〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
(9)	$SYSPCH	〔OUTPUT=REMOTE〕
(10)	$PLIBRUN	〔NOLIST〕〔, LMAP〕
		〔, EBNAME=実行形式プログラム名〕
		〔, STARTPROGRAM=実行開始エレメント名〕
		〔, ERR=n〕
		〔, DATA=データ名〕〔, MACROSTEP=n〕
		〔, OUTPUT=REMOTE〕
		〔, FILENAME=ファイル名〕

(11)	$A・WORK	UNITNO=nn〔, RECORDSIZE=n〕 〔, TRACK=n〕
(12)	$F・WORK	$A・WORKと同じ
(13)	$A・DA	UNITNO=nn, FILENAME=ファイル名〔, UNIT=装置機番〕 〔, VOLNO=ボリューム通番〕〔, RECORDSIZE=n〕
(14)	$F・DA	$A・DAと同じ
(15)	$A・MT	UNITNO=nn, FILENAME=ファイル名, MTVOLNO=ボリューム通番〔, FILE=NEW〕 〔, RECORDSIZE=n〕
(16)	$F・MT	$A・MTと同じ
(17)	$CATALOG	FILENAME=ファイル名〔, MACROSTEP=n〕 〔, OUTPUT=REMORTE〕〔, UNIT=装置機番〕〔, VOLNO=ボリューム通番〕
(18)	$CHANGE	FILENAME=ファイル名, TRACK=n, WORKTRACK=n〔, OUTPUT=REMOTE〕 〔, MACROSTEP=n〕〔, UNIT=装置機番〕〔, VOLNO=ボリューム通番〕
(19)	$UPDATE	$CHANGEと同じ
(20)	$PRINT	$CATALOGと同じ
(21)	$PUNCH	$CATALOGと同じ
(22)	$TRACK	〔FILE=n〕
(23)	$DAFILE	FDNAME=ファイル定義名, FILENAME=ファイル名 〔, UNIT=装置機番〕〔, VOLNO=ボリューム通番〕
(24)	$MTFILE	FDNAME=ファイル定義名, FILENAME=ファイル名, MTVOLNO=ボリューム通番〔, UNIT=装置機番〕 〔, FILE=NEW〕
(25)	$DELETE	FILENAME=ファイル名, TRACK=n, 〔UNIT=装置機番〕〔, VOLNO=ボリューム通番〕 〔, MACROSTEP=n〕〔, OUTPUT=REMOTE〕
(26)	$CARDCOPY	
(27)	$PLOTTER	
(28)	$PTR	
(29)	$CONV	
(30)	$NOCONV	
(31)	$JEND	

ISS

(1)	$BACCUS	〔CORE=HCM占有語数〕
(2)	$QBACCUS	〔ソースファイル名〔, ソースファイルのある機番〕〕 〔, SVF=セーブファイル名〔, SVK=セーブファイルのある機番〕〕 〔, LIBRARY=USE〕〔, CORE=HCM占有語数〕
(3)	$QLINED	出力ファイル名, 出力エレメント名〔, 出力ファイルのある機番〕 〔, OLDF=〔本文ファイル(エレメント名)〕〔, OLDK=本文ファイルのある機番〕〕 〔, AINF=(追加用ファイル名(エレメント名))〔, AINK=追加用ファイルのある機番〕〕

(4)　$QLISP　　ソースファイル名〔，ソースファイルのある機番〕〔，CORE＝HCM占有語数〕

(5)　$GETFILE　　ファイル名，トラック数〔，ファイル種別〕

(6)　$DELFILE　　ファイル名

(7)　$COPYFILE　　新ファイル名，旧ファイル名，旧ファイルのある機番，トラック数〔，ファイル種別〕

(8)　$DFORTRAN　　出力ファイル名〔，出力ファイルのある機番〕
〔，OLDF＝(本文ファイル名(エレメント名))〕
〔，OLDK＝本文ファイルのある機番〕〔，AINF＝(追加用ファイル名(エレメント名))〕
〔，AINK＝追加用ファイルのある機番〕